

Weekly Report

2018-19年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
「継続と変化」



創会立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：平野 好道
幹事：湯澤 信雄
クラブ広報委員長：長谷川 隆
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2018-19年度
国際ロータリーのテーマ
インスピレーションになる
(BE THE INSPIRATION)

インスピレーションになる

第1876回例会

～青少年奉仕月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2019年5月16日(木) 晴れ 第38回

司会：平安山京太会場委員
斉唱：「我等の生業」
杉山裕一さん 渡邊将之さん 安井友康さん

会長挨拶

平野好道会長

皆さん、こんにちは。まず本日の卓話者を紹介します。寺尾隆さんです。楽しみにしています。本日のビジターは杉山裕一さん、渡邊将之さん、安井友康さん、この3名は入会予定者として例会に参加していただいています。是非、瑞穂RCの良いところを見てってください。更にビジターとして武井理さん。武井さんは本日の卓話を聞きたいということで来ていただきました。楽しんでください。会長挨拶は前回の岩田さんからのご指名で市岡さんにお話をさせていただきます。よろしくお祈りします。



市岡正蔵さん

皆さん、こんにちは。久々で大変緊張しております。元号も変わりまして新しい時代の幕開けとなりました。私はなんとなくフレッシュな気持ちがあります。差し当たって何か変わった訳ではありませんが、平野会長の会長方針である「継続と変化」の言葉がちらっと頭をよぎりました。



私の仕事は店づくり、商店建築、主に飲食店を手がけています。5月14日に中部国際空港セントレアにてミシュランガイド愛知・岐阜・三重2019特別版が発表されました。その中で私たちが手がけたお店が何軒かあり嬉しかったです。名古屋には有名なお店ばかりですが新しい店がミシュランに選ばれているところを目にするとまさに平野会長が掲げる「継続と変化」だと思いました。

話は変わります。ちょうどヒルトン名古屋の北側に広小路通があります。皆さんも記憶にあると思いますが昭和40年代の広小路通にはたくさんのキャバレーが並んでいました。さらに昔の戦後には納屋橋から広小路通を通して栄までの間にたくさんの置屋やカフェがあったそうです。その中で今回は戦後のカフェと呼ばれる店についてお話をさせていただきます。戦後の住吉から錦までの場所は置屋街と言われており、たくさんの芸姑さんが行き交っていました。そんな中にカフェがありました。カフェの店づくりは小さなタイルをあしらって外観にアールがあしらっているのが特徴でした。カフェは芸姑

さんのような和装ではなく洋装の女性が接待をしており、それが新鮮だと評判でした。カフェで働く女性を当時は女給と呼びました。現在で言うウェイトレスさんです。しかしその多くのカフェはコーヒーやお酒などは売っていません。店に並んでいるコーヒーの焙煎機や酒の瓶などは本物ではなく飾りでした。この当時カフェと言われていた店のほとんどが、カフェを装った風俗店でした。そのカフェが小説の舞台として書かれているものがあります。有名な作品は永井荷風の「つゆのあとさき」や、谷崎潤一郎の「痴人の愛」です。映画化されているものもあり、昭和のノスタルジックを感じられる素敵な映画が多いです。

そんな中、普通のカフェもありましたが風俗店のカフェが増えてしまい、戦後いかにわいしい店と間違えられないように呼ばれた言葉が「純喫茶」でした。それ以外の喫茶店は「特殊喫茶」と呼ばれていたそうです。1960年までの間は「同伴喫茶」、「アベック喫茶」、「連れ込み喫茶」といような喫茶店ができました。そういった不純な要素が使われていた時代があったというわけです。昭和50年代には常連客が集まる日常的な喫茶店もありましたね。そして今はネットが使える喫茶店があります。私のような団塊の世代が集まれるような郊外型カフェもできています。それから昭和の古き良き時代の建築をあしらったノスタルジック喫茶店というのもできました。

全国で名古屋は喫茶店が多いですが、大正、昭和、平成と駆け抜けてきた場所として喫茶店の全貌を知ることによってこれからの令和の時代に向けてなにかヒントになればと思います。本日は平野会長の会長方針「継続と変化」を踏まえて喫茶店を題材にしてお話をさせていただきます。ありがとうございました。

出席報告

会員66名 出席45名 (出席計算人数50名)

出席率 78.9% 5月9日は補填により87.5%

ニコボックス

萩原孝則ニコボックス委員

- ・安井君、渡邊将之君、ようこそ!! 先日のゴルフ部会優勝しました。勝因は関谷さんにバンカーショットを教えてもらい一度でれずそのホールでかくしホールでした。 **内田 久利さん**
- ・昨晩は鈴木淑久さんと約束をして居乍らすっかり忘れて仕舞い大変失礼を致しました。そろそろ老人ボケが始まりました。本当に淑久さんご免なさい。 **野崎 洋二さん**
- ・5/4は結婚記念日でした。先月は榎田さんに大変お世話かけ、ありがとうございました。 **稲葉 徹さん**
- ・榎田さん、先日はありがとうございました。 **平野 好道さん**
- ・寺尾さん、今日の卓話ありがとうございました。 **関谷 俊征さん**
- ・榎田さん先日はありがとうございました。梅村先生お世話になりました。 **湯澤 信雄さん**
- ・本日は豊田中ロータリークラブとの野球の練習試合です。よろしくお祈りします。 **鈴木 淑久さん**
- ・1年で1番大きなイベントである母の日とイニシエーションスピーチが終わりホッとしています。 **榎田 篤弘さん**

委員会・同好会報告

野球部会：鈴木淑久さん

- ・本日パロマ瑞穂球場にて豊田中RCと練習試合を行います。集合時間は16:30です。試合後、20:30から石田屋新瑞穂店にて打ち上げを用意しています。皆さん参加して下さい。
- ・次週5/22、17:30から豊田市運動公園にて豊田中RCと練習試合があります。集合時間は16:30です。よろしくお祈りします。

幹事報告

湯澤信雄幹事

- ・次週5月23日(木)19:00より、RAC・IAC合同例会をヒルトン名古屋4階「桜の間」にて行います。
- ・次々週5月30日(木)16:30より、新会員研修・懇親会をあつた蓬萊軒松坂屋店にて行います。

第1回マルチプルポールハリスフェロー表彰

鈴木淑久さんが第1回マルチプルポールハリスフェローとして表彰されました。おめでとうございます。



卓話

ソニー生命ライフプランナー 寺尾隆さん

テーマ：「ビジネスで成功する心の在り方」

改めまして皆様、こんにちは。皆様のような素晴らしい経営者の方々の前でお話をさせていただくのは大変恐縮ですがとても嬉しく思います。今日は瑞穂RCの卓話ということで貴重な時間をいただきました。この卓話で皆様に何を伝えにきたのかと言いますと、皆様の大事な従業員や社員の方々の視点がどういふもので、どんな気持ちで働いているのかを我々のような生命保険会社を題材にお話します。もちろん業界も違うのでいろんな価値観や皆様のご経験にはありえないような話もあるかと思いますが、そんな話もあるんだな、そんな世界もあるんだな、という感じで聞いていただくと助かります。どうぞお付き合いくださいますようお願いいたします。



小話です。この小話を持って今日の卓話を終了します。私はこの話が1番大事だと思って日頃活動をしています。

作業員A、B、Cがいます。皆さんの部下だと思って下さい。この3人に2つ質問をします。1つ目の質問は目標です。3人の目標は同じ現場ですから当然同じ工期までに市民公園を完成させることです。3人の目標は全く同じです。では2つ目の質問は「あなたはこの仕事をなぜここでやっているのですか」と目的を聞きました。これは3人とも違っていました。この3人の中で今から話す話を聞いて、良さや

悪さを考えて欲しいわけではありません。人の生き方ですので、その人の生き方を否定や批判することはないと思います。ですからそういう形では聞いて欲しくないのです。その社員の方の生き方になるのでそういう方もいるのではないかという気持ちで聞いてください。まずAさんは上司が厳しいからだと答えました。このように答える社員さんはたくさんいます。しかし言われたことは実直に真面目に仕事をする方が多いです。言われればちゃんと仕事をするのがAさんです。Bさんは自分はこの仕事で生活しているからと答えました。Bさんのような方も多そうですね。そしてCさんは何かの役に立ちたいからだと答えました。しかしCさんのように答える人間が存在するのかと疑問に思う方がいますが、世の中にはCさんのような考え方の人はいます。私はそのCさんのような方と何人もお会いしています。

Aさんは目的を持っていません。仕事に対する目的はありません。Bさんの目的は生活費を稼ぐためです。Cさんは何かの役に立つのが目的です。ですからこういう方が愛社精神があります。上司を助けたい、部下を救いたい、なんでも良いのです。とにかく自分ではない他のものの役に立ちたい貢献したいという考えを持っているのがCさんです。

皆さんの部下はどのタイプの方がいるでしょうか。どのタイプもその人の生き方ですから否定するものではないです。目標と目的の捉え方です。目標は持たないといけないと思います。しかしその大事と言われる目標も実際に言い方見方を変えたらこんな表現になることもあります。それは単なる数字、理想、簡単に修正できる、他人から与えられる、など。このように言っている部下もいますよね。「この数字は会社が決めた数字だから自分が決めた数字じゃない」とか、期が終わる頃に「来期から頑張ります」と簡単に修正をします。このように心の中で思っていたらどうでしょうか。これは本当の目標とは言えません。ですから捉え方見方によって変化してしまうのも目標だと思いますので、ここは部下に思いを伝えること分かち合うことが1つの方法ではないでしょうか。

しかし目的の部分に関しては上司も部下も絶対にブレることのないものではないでしょうか。他人から言われても自分の心の中から芽生えてくるものでそこにはプライドがありますので上司から何を言わようが目的は決してブレるものではないと思います。この目的が仕事上で変わってくると仕事の質、表現の仕方が変わるものではないでしょうか。この仕事の質が変わってきた時にお客様からの評価、上司からの評価、世の中からの評価というものが変わってくるのではないかと私は思います。

私は保険業界で働けて良かったと思っています。人生の棚卸をして自分に価値がないことに気がつきました。前職の会社名があったから営業成績も上げられたのだと心の底から気がつくことができました。そこで私がやって来たことはまだまだ全然足りませんが、人に評価をいただく、自分に価値を設けていく、どうやったら人の信頼を得られるか、そういう所に視点を置いて自分の生き方なり方を常に見直しながら今日の出会いを大切にしながら今後もやっていきたいと思えます。今日は生意気でおこがましい話だったかもしれませんが私にとっては非常に大切な話だと思ってお話させていただきました。今後とも瑞穂RCの皆さんといろんな場所でお付き合い頂けるとありがたいです。今日は貴重な時間を頂戴いたしましてありがとうございました。

例会のご案内

■今週の行事 5月23日(木) RAC・IACとの合同例会

■次週の卓話 5月30日(木)
テマ：新会員イニシエーションスピーチ
会員 卓：千秋 季頼さん

■次々週卓話 6月6日(木)
テマ：新会員イニシエーションスピーチ
会員 卓：今川 知也さん